

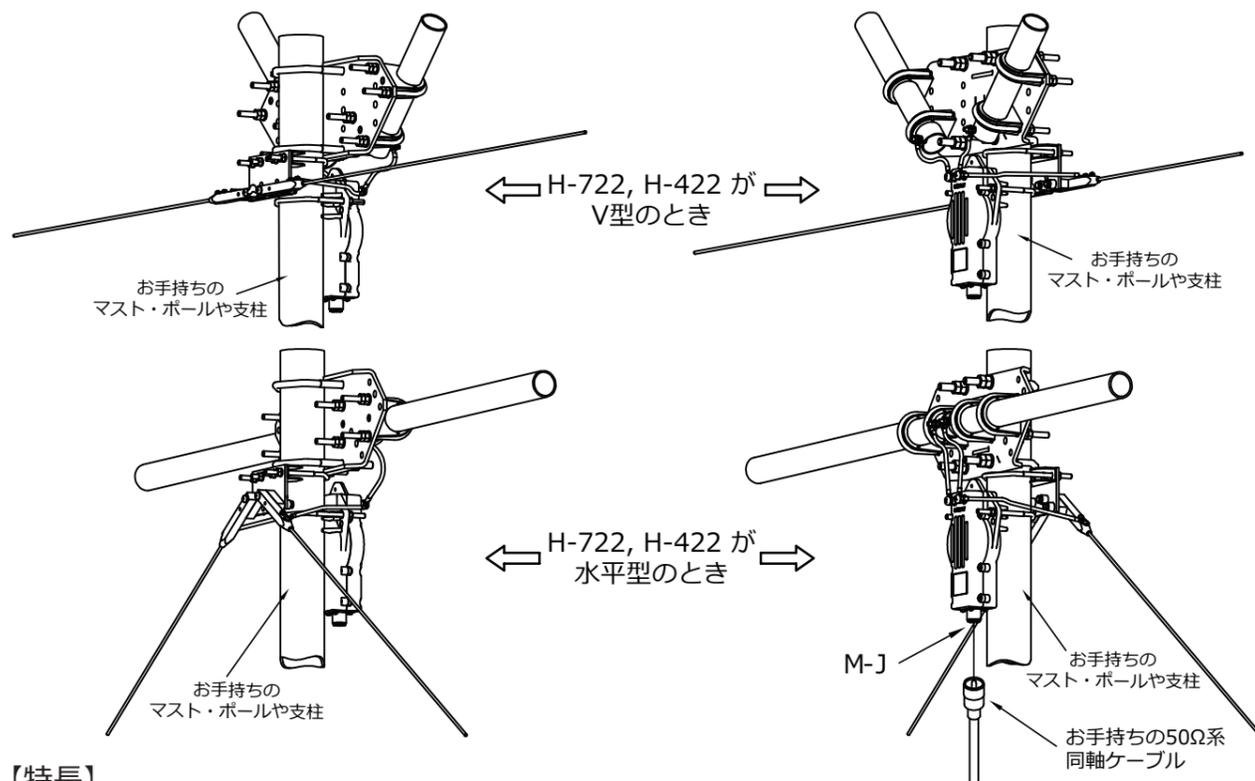
# MODEL H-D6

Optimal Element Set for 50MHz band  
trap dipole antenna

## 取扱説明書

ご購入をいただきまして誠にありがとうございます。

安全にお使いいただくために！  
ご使用前に、この取扱説明書をよくお読みの上、正しくお使いください。  
この取扱説明書は、必要なときにご覧になれるように大切に保管しておいてください。



### 【特長】

1. ダイポールアンテナ(H-722, H-422)に追加することにより、50MHz帯でのQSOが可能になります。
2. ダイポールアンテナの取り付け状態に合わせて、水平型又は逆V型への切り替えが可能です。
3. 別途、バラン(別売：CBL-2500等)を使用すると50MHz帯を単独使用可能です。

※ コネクターの接続部は、防水のため自己融着テープを約2倍程度に引き伸ばしながら巻き付け、ビニールテープを上巻いて防水処理をしてください。

### ⚠ 作業上の警告

- 屋根の上など高所作業の際には複数人で行い、落下事故やけが防止のために安全帽・安全帯を着用し作業してください。
- 電線・電車架線のそば、電話線の近くや照明灯の近くでは設置作業をしないでください。アンテナが倒れた時大事故になります。

### 【仕様規格】

- 形式：半波長ダイポールアンテナ
- 周波数：50MHz帯
- 利得：2.15 dBi
- 耐入力：200W (SSB)
- インピーダンス：50Ω
- VSWR：1.5以下
- コネクター：M-J型
- 全長：水平時 約2.82m  
逆V取付時 約2.51m
- 支柱取付径：φ25~65(mm)
- 質量：約250g

### ⚠ 設置上の注意

- 電波防護指針に従って安全な場所にアンテナを設置してください。
- 取付ネジ・金具類はしっかり締め付け固定し防水処理などを施してください。固定が悪い場合は、振動や強風などで緩み落下事故などの原因になることがあります。設置時の部品落下やケガに注意してください。
- 高圧電線や鉄塔・建造物など近くに障害物のない場所に設置してください。近くに障害物があると、誘導雷で焼損したり性能低下やSWRが悪化することがあります。

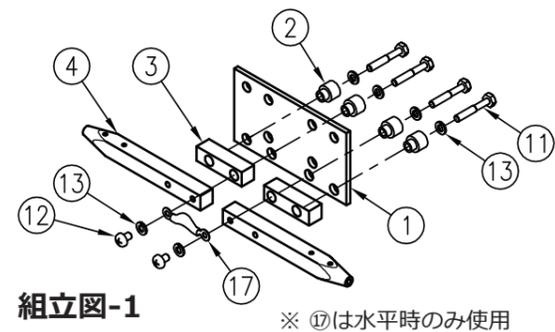
### 組み立てる前に！

☆ 梱包箱を開封しましたら、パーツリストにより各部品を確認してください。

### 【パーツリスト】

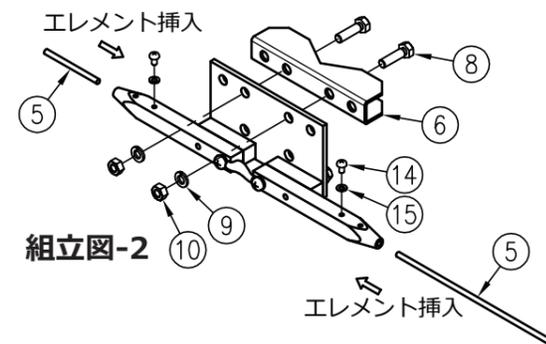
部品名	材料・寸法 等	数量
1	固定板	1
2	ネジ座	4
3	絶縁ブロック	2
4	エレメント座	2
5	エレメント	φ3 × 1350 mm
6	取付金具	1
7	角U字ボルト	M5
8	六角ボルト	M5×18
9	六角ボルト	M4×25
10	六角ナット	M5用
11	スプリングワッシャー	M5用
12	スプリングワッシャー	M4用
13	スプリングワッシャー	M3用
14	なべネジ	M4×6
15	なべネジ	M3×5
16	フィード線	圧着端子付
17	コンデンサー	1

外観・規格仕様が異なることがあります。

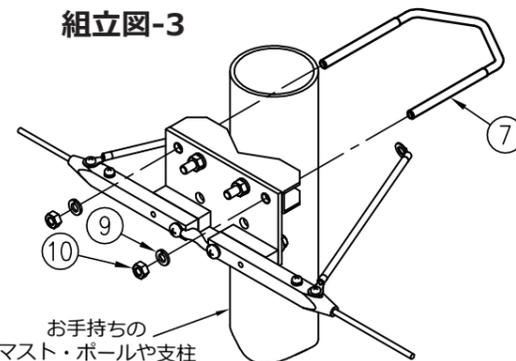


組立図-1

※ ⑭は水平時のみ使用



組立図-2

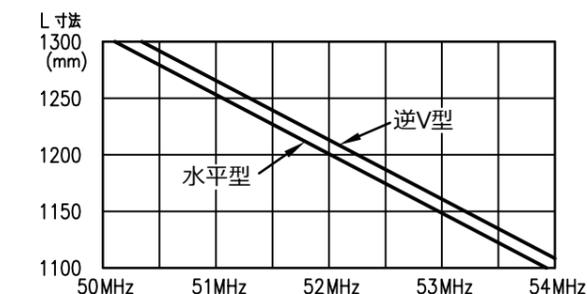


組立図-3

### 【調整方法】

1. アンテナ(バラン)のM-J コネクターに、お手持ちの50Ω系の同軸ケーブルを接続し必ずSWRを確認してください。
2. グラフと比較して周波数がずれている場合、エレメントを伸ばしたり切断により合わせます。
3. 調整が済みましたら、ねじをしっかり締め付け固定します。

※ 設置場所によりSWRは大きく変化しますので、SWRが高い時は設置場所を変更してください。



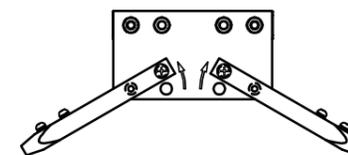
## COMET株式会社

〒336-0026 埼玉県さいたま市南区辻4-18-2  
TEL 048-839-3131 (代)FAX 048-839-3136

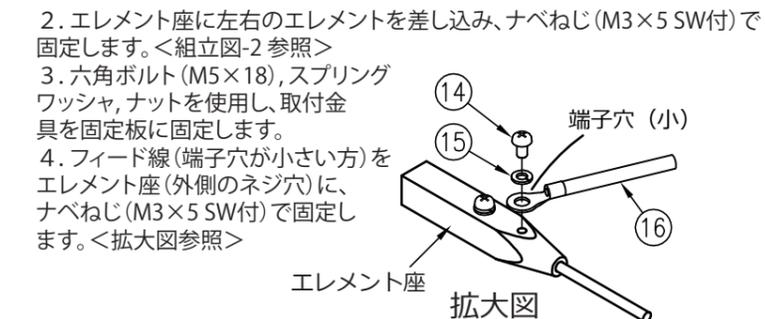
### 【組立方法】

1. ネジ座に六角ボルト (M4×25 SW付) を通して、絶縁ブロック、エレメント座で固定板を挟み込み固定します。<組立図-1 参照>

※ HF帯 (H-722, H-422) がV型、H-D6を水平型取付の場合、コンデンサをナベねじ (M4×5 SW付) でエレメント座に取り付け固定します。



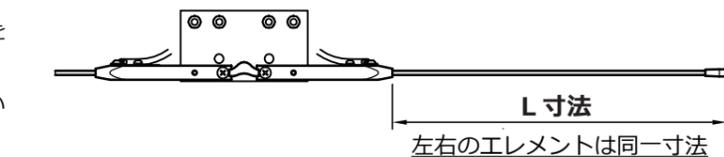
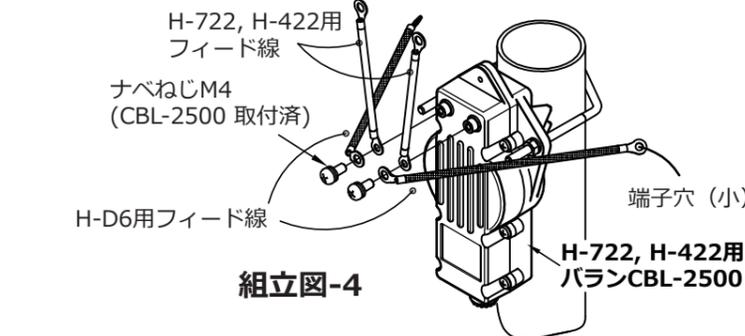
※ HF帯 (H-722, H-422) が水平型、H-D6を逆V型取付の場合、取付固定を左図のように取付の穴を変更します。



2. エレメント座に左右のエレメントを差し込み、ナベねじ (M3×5 SW付) で固定します。<組立図-2 参照>

3. 六角ボルト (M5×18), スプリングワッシャー, ナットを使用し、取付金具を固定板に固定します。

4. フィード線(端子穴が小さい方)をエレメント座(外側のネジ穴)に、ナベねじ (M3×5 SW付) で固定します。<拡大図参照>



### ⚠ 取扱い・運用上の注意

- 接続ケーブルのコネクターが、アンテナのコネクターと勘合することを確認してください。違う種類ですと接続できなかつたり、破損する場合があります。ペラペラ等、容易に手が届く範囲に設置の場合は、お子様などが送信中のアンテナに触れることが無いよう、十分に注意してください。
- ご使用中に異常と思われる現象が発生した場合には直ちに使用を中止し、アンテナの状態を確認ください。
- 規格以上のパワーを入力、エレメントを外しての使用、エレメントを追加する改造等は行わないでください。破損や十分な性能が出ない原因となります。
- 雷発生時は、アンテナ及びケーブル等には触れないでください。感電の危険性があります。また、雷発生時には無線機やアンテナ及びケーブル等が破損する場合がありますので機器から外したり、SWRをチェックしてください。

性能向上のため、予告なく外観・仕様を変更することがあります。